

教科書の題材構成

※●印は表現、◆印は鑑賞をあらわしている。

内容解説資料

※本資料は、一般社団法人 教科書協会が定めた「教科書発行者行動規範」に則って作成したものです。

美術1(38光村 美I 304)

ページ	題材
2～4	目次／美術を学ぶあなたへ
5～7	はじめに 人はなぜ、描き、つくるのだろう？
8～9	● 身近なものを描く
10～11	● 植物を描く
12～13	● 風景を描く
14～15	◆ [作品鑑賞室] 穏やかな光の中で
16～17	◆ [見る・知る・学ぶ] 線遠近法の発展
18～19	● 版の表現
20～21	● 想像してあわす
22～23	● 不思議な空間をあらわす
24～25	● 自己を描く
26～27	◆ [作家の生涯と作品] パブロ・ピカソ
28～29	● 土から生まれる彫刻
30～31	● 塊から彫り出す
32～33	● 場所との対話
34～35	◆ [作品鑑賞室] 祭りの喧騒
36～37	◆ [見る・知る・学ぶ] 日本美術の大胆な造形感覚
38～39	● 文字とデザイン
40～41	● ポスターのデザイン
42～43	● 情報伝達のデザイン
44～45	◆ [見る・知る・学ぶ] 暮らしの中の文様
46～47	● 紙を生かしたデザイン
48～49	● 手で使う道具のデザイン
50～51	● 素材を生かすデザイン
52～53	◆ [作家の生涯と作品] チャールズ&レイ・イームズ
54～55	● 時間を切り取る
56～57	● 日常を捉える
58～59	● 絵や写真を動かす
60～61	● 映像が作り出す空間
62～63	● メッセージを伝える映像
64	[インタビュー 美術の仕事] 李 禹煥
65	須藤玲子
66	庵野秀明
67	岩井希久子
68～69	鉛筆で描く
70～71	透明水彩絵の具で描く
72～73	アクリルグアッシュで描く
74～75	絵の具の特徴を知ろう
76～77	形の特徴を知ろう
78～80	色の特徴を知ろう
81～84	美術史年表
85～86	トピックス美術史
87	美術館について知ろう
88～89	後書き

美術2(38光村 美II 303)

ページ	題材
2～3	目次／前書き
4～5	はじめに 心の記録、創造の源
6～7	● 見えるものの向こうに
8～9	● うつろう自然を描く
10～11	● 記憶の中の風景
12～13	◆ [作品鑑賞室] 誘惑に打ち勝つ聖人
14～15	◆ [見る・知る・学ぶ] 絵に隠された謎
16～17	● シルクスクリーンの世界
18～19	● 銅版画の世界
20～21	◆ [作家の生涯と作品] コンスタンティン・ブランクーシ
22～23	● 身近な材料でつくる
24～25	● 想像上の生物をつくる
26～27	◆ [作品鑑賞室] 力強い自然
28～29	◆ [見る・知る・学ぶ] ものに宿る魂
30～31	● 色を選ぶ
32～33	● 情報を視覚化するデザイン
34～35	● 統一感をつくるデザイン
36～37	● 問題を解決するデザイン
38～39	● 座するための道具「椅子」
40～41	◆ [作家の生涯と作品] アルヴァ・アアルト
42～43	● 人物を撮影する
44～45	● 構図を工夫して撮る
46～47	● プロモーション映像をつくる
48～49	● アニメーションをつくる
50～51	◆ [見る・知る・学ぶ] 世界のアニメーション
52	[インタビュー 美術の仕事] 奈良美智
53	石内 都
54	水戸岡鋭治
55	遠藤彰子
56～57	色を深く知ろう
58～59	油絵の具で描く
60～61	日本画の絵の具で描く
62～63	後書き

美術3(38光村 美III 303)

ページ	題材
2～3	目次／前書き
4～5	はじめに 社会に開かれる美術
6～7	● 私のいる世界
8～9	● 鉛筆の可能性
10～11	◆ [作品鑑賞室] 生命のサイクル
12～13	◆ [作家の生涯と作品] 岡本太郎
14～15	● 響き合うイメージ
16～17	● 自然の力を生かして
18～19	◆ [作品鑑賞室] 迫り来る龍神
20～21	◆ [見る・知る・学ぶ] 絵画の修復
22～23	● 書物のデザイン
24～25	● 安心をつくるデザイン
26～27	● 自然との共生
28～29	◆ [作家の生涯と作品] 田中一光
30～31	◆ [見る・知る・学ぶ] オリンピックのデザイン
32～33	● 光を捉える
34～35	● 編集で広がる映像の世界
36～37	◆ [見る・知る・学ぶ] 時代の精神を感じて
38～39	● ポートフォリオをつくる
40～45	● 美術を学んで広がる未来
46～47	後書き

3冊を通して、美術文化の魅力と奥深さを伝えます。

[内容解説資料] 光村図書 高等学校用

美術 1・2・3

平成31年度版教科書 検討の観点と内容の特色

高等学校用

美術1

科目名	教科書名	番号・略称	記号・番号	出版社名
美術 I	美術1	38光村	美 I 304	光村図書出版

項目	観点	特色・具体例
1 内容の選択・程度	<ul style="list-style-type: none"> ● 学習指導要領、教科の目標を達成するために必要な教材が適切に用意されているか。 ● 基礎的、基本的事項の理解や、その習得のため、適切な配慮がなされているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 学習指導要領に示された「美術 I」の目標・内容をふまえ、A表現・B鑑賞の題材がバランスよく、相互に関連を図りながら適切に配置されている。 ◇ 日本や西洋の美術だけにとどまらず、幅広い地域や時代の作品が多角的に取り上げられており、生涯を通して美術文化について理解が深まるよう配慮されている。 ◇ 各題材や巻末資料の中で、作品をつくる時の手がかりや基礎的な技法が具体的に示されており、表現活動に生かすことができる。
2 組織・配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> ● 内容の組織、配列、分量は、学習指導を有効に進められるように考慮されているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 教科書の題材が学習指導要領に沿って絵画・彫刻、デザイン、映像メディア表現の分野別に整理され、バランスよく配置されている。内容が一目で分かるようにインデックスで色分けがされており、学習指導を進める上で使いやすいよう工夫されている。 ◇ 各題材では学習のねらいを示した目標が記されており、学習指導を効果的に進めることができる。 ◇ A表現では、絵画・彫刻、デザイン、映像メディア表現それぞれにおいて取り上げる活動のバランスと分量が配慮されている。B鑑賞では「作家の生涯と作品」「見る・知る・学ぶ」「作品鑑賞室」など切り口の異なる題材が設けられ、多角的な鑑賞体験への提案がなされている。 ◇ 表現の題材では、作品を発想し制作する際に参考になる「制作ノート」が示されている。 ◇ 「作家の手法」として、4名の作家が実際に制作する様子が紹介されている。作家の発想のポイントや、技法上の工夫などを実感しながら学習を進められるよう配慮されている。 ◇ 「作品鑑賞室」では、鑑賞を深めるための生徒への問いかけをQマークをつけて記し、意欲的に学習できるようになっている。 ◇ アニメーションの原理を伝えるパラパラアニメ、裏表紙のデザインバーコードなど、生徒の興味・関心を高めながら学習指導を進める工夫がなされている。 ◇ 巻末に「鉛筆で描く」「透明水彩絵の具で描く」「アクリルグアッシュで描く」といった技法についての資料が設けられており、制作の流れや用具の使い方を適宜参照しながら学習指導を進めることができる。 ◇ 巻末に形や色彩、絵の具の特徴に関する資料が設けられており、表現と鑑賞の各題材で必要に応じて活用することができる。 ◇ 「インタビュー 美術の仕事」では、美術家やデザイナーの生き方、考え方などを紹介している。生徒の美術への興味・関心を喚起させ、職業について意識させる内容である。 ◇ 両観音開きの4ページにわたる「美術史年表」では、東洋と西洋の作品が上下に分けて整理されており、視覚的に理解しやすいよう配慮されている。また、「ルネサンス」や「印象派」など、6つのトピックを扱った「トピックス美術史」が設けられ、美術文化に関する理解を深めることができる。
3 表記・表現および使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ● 学習意欲を高めるための配慮がなされているか。 ● 用語・記号の取り上げ方や記述のしかたは適切か。 ● 印刷の鮮明さ、活字の大きさ、行間、製本などは適切か。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ A4ワイド判(297×232mm)の紙面を生かし、2ページ大での作品掲載などが取り入れられている。迫力ある紙面で生徒の学習意欲を高めるとともに、作品を細部まで鑑賞することができる。 ◇ カラーユニバーサルデザイン、特別支援教育の観点から専門家の校閲がなされており、誰もが学習しやすい紙面づくりが配慮されている。 ◇ 用語や表記は統一されており、記述のしかたも適切である。 ◇ 活字は鮮明で読みやすい大きさ・書体である。写真・図版も鮮明で効果的である。また、製本も堅牢である。 ◇ 表紙はポリプロピレンラミネート加工により、画材や粘土などによる汚れにも対応できる。 ◇ 裏表紙には名前欄が設けられており、実用に適している。 ◇ 造本においては、環境に配慮した紙と植物油インキが使用されている。
4 総合所見	<ul style="list-style-type: none"> ● 上記観点から見た、全体的・総合的な当教科書の特徴。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 学習指導要領に合わせて分野別に整理して構成され、表現を支援するヒントや多角的な鑑賞体験の提案、表現と鑑賞の各題材で活用できる資料などが盛り込まれている。「感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める」という「美術 I」の学習指導要領の目標に合致している。

平成31年度版教科書 検討の観点と内容の特色

高等学校用

美術2

科目名	教科書名	番号・略称	記号・番号	出版社名
美術Ⅱ	美術2	38光村	美Ⅱ 303	光村図書出版

項目	観点	特色・具体例
1 内容の選択・程度	<ul style="list-style-type: none"> ● 学習指導要領,教科の目標を達成するために必要な教材が適切に用意されているか。 ● 基礎的,基本的事項の理解や,その習得のため,適切な配慮がなされているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 学習指導要領に示された「美術Ⅱ」の目標・内容をふまえ, A表現・B鑑賞の題材がバランスよく,相互に関連を図りながら適切に配置されている。 ◇ 「美術Ⅰ」の学習を基礎にして美術の諸能力を伸ばすことをねらいとする「美術Ⅱ」の性格をふまえ,より表現や鑑賞の能力を深められるよう学習内容の段階化が図られている。 ◇ 日本や西洋の美術だけにとどまらず,幅広い地域や時代の作品や,広く社会の中で活躍する作家などが取り上げられており,生涯を通して美術文化について理解が深まるよう配慮されている。 ◇ 各題材や巻末資料の中で,作品をつくるときの手がかりや基礎的な技法が具体的に示されており,表現活動に生かすことができる。
2 組織・配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> ● 内容の組織,配列,分量は,学習指導を有効に進められるように考慮されているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 教科書の題材が学習指導要領に沿って絵画・彫刻,デザイン,映像メディア表現の分野別に整理され,バランスよく配置されている。内容が一目で分かるようにインデックスで色分けがされており,学習指導を進める上で使いやすいよう工夫されている。 ◇ 各題材では学習のねらいを示した目標が記されており,学習指導を効果的に進めることができる。 ◇ A表現では,絵画・彫刻,デザイン,映像メディア表現それぞれにおいて取り上げる活動のバランスと分量が配慮されている。また各題材で「美術Ⅰ」での学習をふまえ,より創造的な表現を促すために,「美術Ⅰ」からの内容の段階化が図られている。 ◇ B鑑賞では「作家の生涯と作品」「見る・知る・学ぶ」「作品鑑賞室」などの題材が設けられ,多角的な鑑賞体験への提案がなされている。作品の時代的背景や宗教,社会との関わりにも触れられており,美術文化についての理解をより深められる内容になっている。 ◇ 表現の題材では,作品を発想し制作する際に参考になる「制作ノート」が示されている。 ◇ 「作品鑑賞室」では,鑑賞を深めるための生徒への問いかけをQマークをつけて記し,意欲的に学習できるようになっている。 ◇ アニメーションの原理を伝えるパラパラアニメ,裏表紙のデザインバーコードなど,生徒の興味・関心を高めながら学習指導を進める工夫がなされている。 ◇ 巻末に「色を深く知ろう」といった色彩についての資料が設けられており,表現と鑑賞の各題材で必要に応じて活用することができる。 ◇ 巻末に「油絵の具で描く」「日本画の絵の具で描く」といった技法についての資料が設けられており,制作の流れや用具の使い方を参照しながら学習指導を進めることができる。 ◇ 「インタビュー 美術の仕事」では,美術家やデザイナーの生き方,考え方などを紹介している。生徒の美術への興味・関心を喚起させ,職業について意識させる内容である。
3 表記・表現および使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ● 学習意欲を高めるための配慮がなされているか。 ● 用語・記号の取り上げ方や記述のしかたは適切か。 ● 印刷の鮮明さ,活字の大きさ,行間,製本などは適切か。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ A4ワイド判(297×232mm)の紙面を生かし,2ページ大での作品掲載などが取り入れられている。迫力ある紙面で生徒の学習意欲を高めるとともに,作品を細部まで鑑賞することができる。 ◇ カラーユニバーサルデザイン,特別支援教育の観点から専門家の校閲がなされており,誰もが学習しやすい紙面づくりが配慮されている。 ◇ 用語や表記は統一されており,記述のしかたも適切である。 ◇ 活字は鮮明で読みやすい大きさ・書体である。写真・図版も鮮明で効果的である。また,製本も堅牢である。 ◇ 表紙はポリプロピレンラミネート加工により,画材や粘土などによる汚れにも対応できる。 ◇ 裏表紙には名前欄が設けられており,実用に適している。 ◇ 造本においては,環境に配慮した紙と植物油インキが使用されている。
4 総合所見	<ul style="list-style-type: none"> ● 上記観点から見た,全体的・総合的な当教科書の特徴。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 学習指導要領に合わせて分野別に整理して構成され,表現を支援するヒントや多角的な鑑賞体験の提案,表現と鑑賞の各題材で活用できる資料などが盛り込まれている。「創造的な諸活動」を通して,「個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし,美術文化についての理解を深める」という「美術Ⅱ」の学習指導要領の目標に合致している。

平成31年度版教科書 検討の観点と内容の特色

高等学校用

美術3

科目名	教科書名	番号・略称	記号・番号	出版社名
美術Ⅲ	美術3	38光村	美Ⅲ 303	光村図書出版

項目	観点	特色・具体例
1 内容の選択・程度	<ul style="list-style-type: none"> ● 学習指導要領、教科の目標を達成するために必要な教材が適切に用意されているか。 ● 基礎的、基本的事項の理解や、その習得のため、適切な配慮がなされているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 学習指導要領に示された「美術Ⅲ」の目標・内容をふまえ、A表現・B鑑賞の題材がバランスよく、相互に関連を図りながら適切に配置されている。 ◇ 「美術Ⅰ」および「美術Ⅱ」の学習を基礎にして、美術の諸能力を伸ばすことをねらいとする「美術Ⅲ」の性格をふまえ、より表現や鑑賞の能力を深められるよう学習内容の段階化が図られている。 ◇ 日本や西洋の美術だけにとどまらず、幅広い地域や時代の作品が取り上げられている。また現代社会やオリンピックをテーマにした題材を設け、社会や文化への視野を広げることができるよう工夫されている。 ◇ 各題材の中で、作品をつくる時の手がかりや制作に役立つ資料が示されており、表現に生かすことができる。
2 組織・配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> ● 内容の組織、配列、分量は、学習指導を有効に進められるように考慮されているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 教科書の題材が学習指導要領に沿って絵画・彫刻、デザイン、映像メディア表現の分野別に整理され、バランスよく配置されている。内容が一目で分かるようにインデックスで色分けがされており、学習指導を進める上で使いやすいよう工夫されている。 ◇ 各題材では学習のねらいを示した目標が記されており、学習指導を効果的に進めることができる。 ◇ A表現では、絵画・彫刻、デザイン、映像メディア表現それぞれにおいて取り上げる活動のバランスと分量が配慮されている。B鑑賞では「作家の生涯と作品」「見る・知る・学ぶ」「作品鑑賞室」などの題材が設けられ、多角的な鑑賞体験への提案がなされている。 ◇ 表現の題材では、作品を発想し制作する際に参考になる「制作ノート」が示されている。 ◇ 「作品鑑賞室」では、鑑賞を深めるための生徒への問いかけをQマークをつけて記し、意欲的に学習できるようにしている。 ◇ 裏表紙のデザインバーコードなど、生徒の興味・関心を高めながら学習指導を進める工夫がなされている。 ◇ 「美術を学んで広がる未来」では、美術に関わる職業が紹介され、その職業に携わる人のインタビューが掲載されている。美術への興味・関心を喚起させ、職業について意識させる内容である。 ◇ 卒業を控えた生徒の参考となるように、巻末に「ポートフォリオをつくる」、キャリア教育を意図した「美術を学んで広がる未来」といった資料が設けられている。
3 表記・表現および使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ● 学習意欲を高めるための配慮がなされているか。 ● 用語・記号の取り上げ方や記述のしかたは適切か。 ● 印刷の鮮明さ、活字の大きさ、行間、製本などは適切か。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ A4ワイド判(297×232mm)の紙面を生かし、2ページ大での作品掲載などが取り入れられている。迫力ある紙面で生徒の学習意欲を高めるとともに、作品を細部まで鑑賞することができる。 ◇ カラーユニバーサルデザイン、特別支援教育の観点から専門家の校閲がなされており、誰もが学習しやすい紙面づくりが配慮されている。 ◇ 用語や表記は統一されており、記述のしかたも適切である。 ◇ 活字は鮮明で読みやすい大きさ・書体である。写真・図版も鮮明で効果的である。また、製本も堅牢である。 ◇ 表紙はポリプロピレンラミネート加工により、画材や粘土などによる汚れにも対応できる。 ◇ 裏表紙には名前欄が設けられており、実用に適している。 ◇ 造本においては、環境に配慮した紙と植物油インキが使用されている。
4 総合所見	<ul style="list-style-type: none"> ● 上記観点から見た、全体的・総合的な当教科書の特徴。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 学習指導要領に合わせて分野別に整理して構成され、表現を支援するヒントや多角的な鑑賞体験の提案、卒業を控えた生徒の参考になる資料などが盛り込まれている。「創造的な諸活動」を通して、「生涯にわたり美術を愛好する心情と美術文化を尊重する態度を育てるとともに、感性と美意識を磨き、個性豊かな美術の能力を高める」という「美術Ⅲ」の学習指導要領の目標に合致している。

平成31年度版教科書 内容解説資料

<http://www.mitsumura-tosho.co.jp/>

光村図書出版株式会社

この資料に掲載されている「検討の観点と内容の特色」は、ホームページからダウンロードすることができます。

〒141-8675 東京都品川区上大崎2-19-9
電話03-3493-2111(代表)